

Ⅲ 主要概念と関連授業科目

概念	内 容	関連する 授業科目
人 間	1 人間は、生物的・心理的・社会的に統合された存在である。 2 人間は、生から死に至るまで成長発達し変化し続ける存在である。 3 人間は、環境との相互作用により、絶えず変化する存在である。 4 人間は、基本的欲求を持つ存在である。 5 人間は、可能性を持ち、自己実現を目指して生きようとしている存在である。 6 人間は、社会をつくり文化を形成する存在である。 7 人間は、個別的・主体的な存在である。 8 人間は、かけがえのない存在である。 9 人間は、相互関係の中で互いに成長していく存在である。	ホスピタリティ論 運動生理学 解剖生理学 生化学 心理学 教育学 文学 社会学 倫理学 哲学 人間関係論 芸術 専門分野の全ての科目
環 境	1 環境は、生活体の内部環境と外部環境の総体である。 2 内部環境とは、生命を維持するための細胞から諸器官までと、そのシステムをさす。 3 外部環境は、自然環境と社会環境に大別される。 4 外部環境は、内部環境に直接的・間接的に作用し、内部環境の状態を変化させる。 5 生活体は、外部環境に対し生きていくために適応していく。 6 外部環境との相互作用により、生活体は独自の世界を創造する。	解剖生理学 生化学 微生物学 論理学 公衆衛生学 専門分野の全ての科目
社 会	1 社会は、それぞれの役割をもった個人の集団で成り立っている。 2 社会は、個人・家族・地域から構成される。 3 社会は、人間がよりよく生きるために、法律・政治・経済・文化・教育・医療・福祉などの機能を有している。	教育学 社会学 英語 情報リテラシー 医療と経済 関係法規 社会保障と社会福祉 総合保健医療論 専門分野の全ての科目
暮 ら し ・ 生 活	1 暮らしとは、生活を含む概念である。 2 暮らしとは、生き方やライフスタイル等、人生をあらわす。 3 暮らしとは、ライフイベントを乗り越えながら生きていく状態をあらわす。 4 生活とは、人間の一生の継続プロセスであり、生物的、生理的、経済的、社会的、精神的、文化的側面を総合しているものである。 5 生活とは、生きて活動することである。その活動には、呼吸をする、食事をする、睡眠をとる等の日常生活行動や、衣食住、人間関係等が含まれる。 6 生活は、個人の考えや信条により、その人らしさがある。	解剖生理学 生化学 栄養学 微生物学 教育学 社会学 倫理学 哲学 公衆衛生学 関係法規 社会保障と社会福祉 総合保健医療論 専門分野の全ての科目

概念	内 容	関連する 授業科目
健康	1 健康とは、身体的・精神的機能が十分に発揮され、社会に適応している状態である。 2 健康の水準は、個別的なものである。 3 健康は、個体要因と環境要因との相互作用によって成り立つ。 4 健康は、個人のおかれた環境・ライフスタイルに影響される。 5 健康の概念は、時代と共に変化する。 6 健康は、生から死に至るまで連続的に変化していくものである。 7 健康は、人生の目標を達成するための手段である。 8 健康的な生活を送ることは、人間の基本的権利である。	解剖生理学 生化学 病理学 薬理学 治療論 疾病治療論 臨床検査 栄養学 公衆衛生学 社会保障と社会福祉 総合保健医療論 専門分野の全ての科目
看護	1 看護は、対象となる人々の健康状態を回復・保持・増進させるヒューマンサービスである。 2 看護は、人間関係を基盤とした生活援助活動である。 3 看護は、成長・発達段階にあるすべてを対象とする。 4 看護は、あらゆる健康レベルの個人または集団を対象とする。 5 看護は、対象者の健康上の課題を明らかにし、個別的に課題を解決する。 6 看護は、社会の変化や健康医療へのニーズの変化に対応していく。 7 看護は、保健医療福祉システムの中で、相互に協力し独自の役割・機能を果たす。	専門分野の全ての科目
教育	1 教育とは、人間に対する目的意識をもった人間形成への働きかけである。 2 教育とは、知識、技術、態度を教え、育むことである。 3 教育とは、学習者の可能性を引き出し、その可能性を学習者自身が主体的に伸ばしていけるようにしていくことである。 4 教育とは、学習者と教授者との相互作用の中で、共に成長していく過程である。	教育学 心理学 人間関係論 文学 社会学 倫理学 哲学 芸術 専門分野の全ての科目